



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGs アクション

☆宣言

「身近なところから始めよう！厚北 SDGs アクション」



☆SDGs アクション

「小さな芽から、始めよう！」

- 1年生は、生活科の単元で、あさがおの種をまいて育て、できた種を来年度の1年生に渡す準備をすることで、植物に親しみ大切にする心情が育ちました。
- 2年生の生活科の単元で、畑の先生（農業体験リーダー）にお越しいただき、実際に育てる体験を通して、土や天気等の自然環境についても学びました。
- わかば学級では、じゃがいもやミニトマトを育てる活動を通して、成長の過程を楽しみ、収穫の喜びを味わうことができました。



「『生活に関わること』から、始めよう！」

- 総合的な学習の時間に、3年生は「栄養」について、4年生は「食」について学んでいます。これらの学習を通して、食べ物のありがたさや大切さを改めて感じ、残さず食べることを意識できるようになりました。
- 誰もいない教室の電気を消したり、使用後に水道の蛇口をしっかりと閉めたりと、節電・節水の意識をもち、行動を始めました。委員会活動でも SDGs を呼びかけるなど、意識の高まりを見せています。

☆成果

- ◇身の回りの植物や食べ物に関心をもち、「今の自分たちにできること」を考え、行動へと繋がられるようになりました。
- ◇今までは特に意識せずに過ごしていた自分たちの身の回りにも、環境問題につながってしまう行動があることに気づき、それを避けるための行動をとれるようになってきました。

☆次年度の取組に向けて

- 次年度以降も身近な問題から視野を広げつつ、環境問題についての感度を高めていきます。
- 自分たちの提案をより多くの人に知ってもらうための発信方法などの工夫を考えます。